

# 北海道発、雪国の防雪技術を海外へ！

## 革新的防雪柵でモンゴルの冬期交通安全向上に挑戦

国際協力機構（JICA）は12月20日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）<sup>1</sup> ビジネス化実証事業」において理研興業株式会社<sup>2</sup>（北海道小樽市、柴尾 幸弘代表取締役社長）が提案する「モンゴル国における木製高性能防雪柵を活用した交通安全対策に関するビジネス化実証事業」を採択しました。

モンゴルでは吹雪が頻繁に発生し、これによる交通事故・通行止めが多発しています。道路脇に土を盛る対策では、効果が不十分であり、冬期の道路インフラ整備が課題となっています。理研興業株式会社は防雪対策製品の専業メーカーとして国内シェア70%と日本一を誇り防雪柵の分野において最前線で活躍し続けています。同社の技術がモンゴルの交通障害の解決に寄与することが期待されます。



モンゴルの防雪盛土での事故

また、モンゴル政府は砂漠化や地球温暖化対策として2030年までに10億本の植樹計画を推進しています。理研興業株式会社は自社のビジネス展開とともに、複数のSDGsの目標達成を目指し、森林資源の有効活用のために間伐材を防雪柵に利用すること、道路脇に植樹された苗木を過酷な環境から守り、樹木の育成と保護を図ることを計画しています。

今回の調査ではビジネス展開に向けて、防雪柵の効果や、苗木の配置計画等の検証を行う予定です。



木製高性能防雪柵



木製高性能防雪柵と植樹のイメージ

<sup>1</sup> 「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）」概要：[https://www.jica.go.jp/priv\\_partner/activities/index.html](https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html)

<sup>2</sup> 理研興業株式会社 <https://www.riken-kogyo.co.jp/>

この事業は、中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz） ビジネス化実証事業として実施されます。目指すのは、途上国の課題解決に貢献し得る技術・製品・ノウハウ等を活用したビジネスアイデアや ODA 事業での活用可能性の検討、ビジネスモデルの策定です。

**【関連リンク】**

（ニュースリリース）2024 年度「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）」：地域金融機関との連携案件 20 件を含む 57 件の採択を決定

[https://www.jica.go.jp/information/press/2024/20241223\\_41.html](https://www.jica.go.jp/information/press/2024/20241223_41.html)



**【本件に関する問い合わせ先】**

JICA 北海道 市民参加協力課 山崎 みつ美（案件担当）  
TEL 011-866-8421 e-mail : Yamazaki.Mitsumi2@jica.go.jp